

# 天沼中学校の改築について



# 1. 改築に至る経緯

## 天沼中学校の状況

昭和22年	開校(杉並第五小学校内に併設)
昭和23年	現在の校地に移る
昭和35年	現校舎(管理教室棟の一番古い棟)建設
昭和37年	体育館建設
昭和49年	特別教室棟建設

## 改築計画の具体化(区)

令和3年度	杉並区実行計画により改築事業の計画化
令和6年度	杉並区総合計画・実行計画の一部修正で、さざんかステップアップ教室「天沼教室」と「荻窪教室」の併設を計画化
令和7年度	「天沼中学校改築検討懇談会」設置、基本設計策定

## 2. 天沼中学校の概要

### ●生徒数・学級数の推計(令和7年度は4月の速報値)

年月日	生徒数	学級数
令和7年度	280	9
令和8年度	282	9
令和9年度	307	10
令和10年度	308	9
令和11年度	302	9

### ●施設規模等

敷地面積	校舎面積	運動場面積 (有効面積)	体育館面積	プール
11,601㎡	5,789㎡	約4,600㎡	834㎡	25m × 11m

### 3. 「杉並区立学校施設整備計画」(第2次改築計画)(R3.3)について

#### (1) 杉並区の学校施設の状況

##### ① 学校施設の老朽化

区立小中学校のうち、5割以上が築50年以上を経過し、老朽化による更新時期を迎える。

##### ② 生徒数の推移

昭和50年代をピークに減少傾向にあった生徒数は、近年増加傾向にあるが、中長期的には減少が見込まれ、柔軟性のある施設づくりが求められる。

##### ③ 学校施設の改築経費

工事費は年々増加傾向にあり、改築規模の一定のスリム化と経費縮減の取組が求められる。

## (2) 学校施設の目指すべき姿

### ① 将来を見据えた教育環境の確保

- ・安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備
- ・多様な教育に対応できる学習環境の整備
- ・地域の拠点となる開かれた学校づくり
- ・将来転用可能な柔軟性のある施設づくり
- ・環境に優しい施設づくり

### ② 学校施設の標準規模

- ・改築規模の見直しによる一定のスリム化への取り組み
- ・地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保
- ・中学校の標準建物面積として、12学級規模で7,500m<sup>2</sup>

## **4. 改築検討における主な視点**

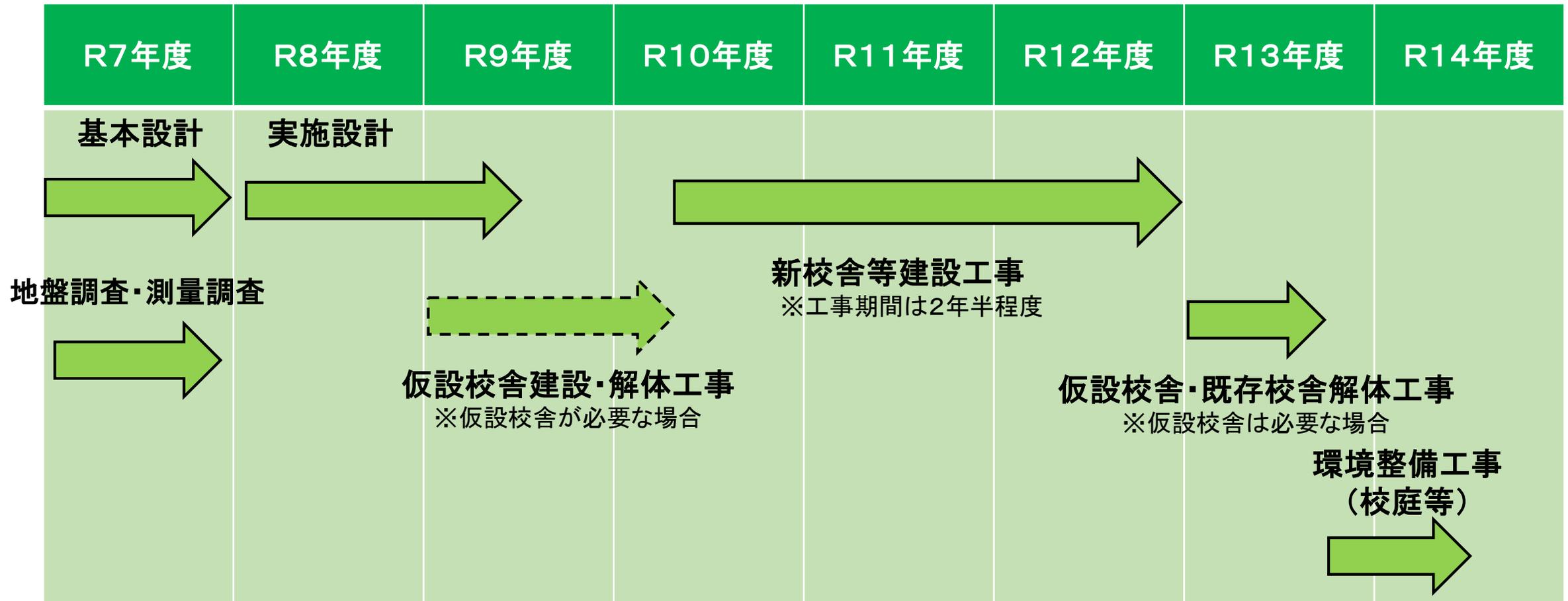
- ・将来の生徒数の変化(ピーク想定)を見込んだ施設づくり
- ・さらなる防災機能の充実や地域に開かれた学校づくり
- ・杉並区では、学校施設の老朽化に伴い、令和7年度から年間約2校ペースでの改築が予定される。コスト面等を含む総合的な視点に立った施設づくり
- ・これまで築後概ね60年を改築時期としていたが、築80年を目指した長寿命化の考え方に基づく改築
- ・天沼中学校は、第一種低層住居専用地域で、近隣住宅と隣接しているため、近隣住宅にも配慮した改築計画
- ・さざんかステップアップ教室の併設も踏まえた検討
- ・懇談会等での学校関係者、保護者、地域住民等の意見を踏まえた検討

## 5. 懇談会の開催予定

回数	月	検討内容(案)
第1回	令和7年 4月 (4月21日)	学校の特色・概要、改築計画の概要 さざんかステップアップ教室について
第2回	令和7年 5月	事例見学
第3回	令和7年 6月	基本方針(たたき台)、改築規模・諸室
第4回	令和7年 7月	基本方針
第5回	令和7年 8月	基本方針、配置案(1回目)
第6回	令和7年 9月	配置案(2回目)
第7回	令和7年11月	配置案(3回目)、平面計画(1回目)
第8回	令和8年 1月	平面計画(2回目)
第9回	令和8年 3月	平面計画(3回目)、基本設計まとめ

※進め方は、今後の懇談会での議論等を踏まえて、必要に応じて見直していきます。

## 6. 改築スケジュール(予定)



令和12～13年度に新校舎使用開始

※敷地条件・校舎配置プラン・工事範囲等により、工事期間等は前後します。